

市議会だより

DAISEN CITY COUNCIL NEWS



6月から9月にかけて、高梨環境
保全会戸地谷地区の皆さんがひまわ
りの植栽活動を行いました。

コロナ禍のため、マスク姿での作
業でしたが、満開のひまわりは変わ
らず元気を与えてくれました。

内 容

CONTENTS

■改選後の新しい議会	2
■常任委員会の構成	3
■第3回定例会の概要	4
■ここがききたい！一般質問	6
■皆さまの声をお寄せください	9
■委員会審査のあらまし	10
■市民の声、編集後記 ほか	12

改選後の新しい議会がスタートしました

10月7日に第4回臨時会が開催され、大仙市議会6期目の4年間でスタートしました。

本会議では議長と副議長の選挙が行われ、単記無記名投票の結果、後藤健議員21票、佐藤文子議員3票となり、後藤健議員が議長に選出されました。また、副議長は、立候補者が1名であったことから、議長の指名推選により、佐藤芳雄議員が副議長に選出されました。

その他、各常任委員会と議会運営委員会の委員の選任や、大曲仙北広域市町村圏組合など一部事務組合への代表議員が選出されました。

当局から追加提案された議会選出の監査委員には、渡邊秀俊議員が選出されました。

QRコードから
録画中継
(大仙市議会
Youtubeチャンネル)
にアクセスできます。



議長就任あいさつ



議長 後藤 健



副議長 佐藤 芳雄

市民の皆さまには、日ごろより、市議会に對しまして格別のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

先般10月7日に開催された第4回臨時会において第12代目の議長に選出され、就任いたしました。あらためて、その職責の重さを痛感し、身の引き締まる思いをいたしております。

さて、新型コロナウイルス感染症が初めて確認されてから、間もなく2年が経過しようとしております。当市を所管する保健所管内においても罹患者が報告されており、罹患された方々にお見舞い申し上げますとともに、治療や感染防止対策にご尽力くださる医療従事者や関係者の皆さまに、深く敬意と感謝を申し上げます。

大仙市は、8市町村による合併から17年が経過し、各地域それぞれが均衡ある発展を目指し、特色ある取り組みをしておりますが、人口減少や少子高齢化、基幹である農業を取り巻く環境、そしてこれからは、新型コロナウイルスの感染拡大防止と地域経済の両立など、いまだ多くの課題を抱えております。

それら諸課題に對して、行政としてしっかりと取り組み、明るい未来を次世代へと引き継ぐために議会の果たすべき役割と責任は、今後ますます大きくなります。

すなわち、議事機関としてこれまでに効率的な行政運営を監視することはもとより、地域の課題を把握し、それらを解決するために議会ですっかりと議論をして、政策として実行することが求められるのではないのでしょうか。

議会としての役割と責任をしっかりと果たすことが、明るく豊かな社会をつくり上げ、将来にわたって住み続けることのできる大仙市となることと確信して、議会運営に努めてまいります。

最後になりましたが、市民の皆さまには大仙市議会に對しまして、今後ますますのご理解とご協力、ご鞭撻を賜ることをお願い申し上げます。就任に当たってのごあいさつといたします。

(議長 後藤 健)

議会の構成「○委員長 ○副委員長」

議会選出監査委員

渡邊 秀俊

議員定数等検討会議

戸嶋貴美子 安達 成年

議会運営委員会

○佐藤 育男
○秩父 博樹

佐藤 文子 橋本 琢史
佐藤 隆盛 小笠原昌作

小笠原昌作

青柳 友哉 佐藤 育男
石塚 柏

石塚 柏

後藤 健 佐藤 育男

橋村 誠

秩父 博樹 橋村 誠

渡邊 秀俊

高橋 徳久 渡邊 秀俊

鎌田 正

小松 栄治 鎌田 正

広報広聴常任委員会

○古谷 武美
○挽野 利恵

後藤 健 本間 輝男
戸嶋貴美子 大山 利吉

戸嶋貴美子

秩父 博樹

青柳 友哉

挽野 利恵

小笠原昌作

秋田県後期高齢者医療広域連合議会議員

石塚 柏

後藤 健

渡邊 秀俊

民生委員推薦会委員

石塚 柏

大山 利吉 戸嶋貴美子

青少年問題協議会委員

青柳 友哉

石塚 柏

高橋 徳久

小笠原昌作

小笠原昌作

都市計画審議会委員

小松 栄治

橋村 誠 高橋 徳久

山谷 喜元

大山 利吉

石塚 柏

金谷 道男

金谷 道男

〔◎委員長 ○副委員長〕

産業建設

●農林部、経済産業部、観光文化スポーツ部、建設部、上下水道局、農業委員会の所管に関する事項の審査を行います。



◎高橋 徳久
(だいせんの会)



○山谷 喜元
(大地の会)



佐藤 芳雄
(だいせんの会)



青柳 友哉
(大地の会)



古谷 武美
(だいせんの会)



橋本 琢史
(新政会)



本間 輝男
(新政会)



佐藤 育男
(大地の会)

教育厚生

●市民部、健康福祉部、教育委員会事務局、市立大曲病院の所管に属する事項の審査を行います。



◎大山 利吉
(大地の会)



○戸嶋 貴美子
(だいせんの会)



佐藤 隆盛
(市民クラブ)



挽野 利恵
(公明党)



石塚 柏
(だいせんの会)



渡邊 秀俊
(新政会)



金谷 道男
(大地の会)



後藤 健
(大地の会)

総務企画

●総務部、企画部、会計管理者、監査委員、選挙管理委員会の所管に属する事項の審査を行います。



◎橋村 誠
(だいせんの会)



○安達 成年
(大地の会)



佐藤 文子
(日本共産党)



秩父 博樹
(公明党)



小笠原 昌作
(新政会)



小松 栄治
(新政会)



高橋 敏英
(だいせんの会)



鎌田 正
(大地の会)

会派の構成

〔◎代表 ○副代表〕

大地の会 (8人)

◎鎌田 正

○金谷 道男

大山 利吉
佐藤 育男

後藤 健

山谷 喜元

安達 成年
青柳 友哉

だいせんの会 (7人)

◎高橋 敏英

佐藤 芳雄

古谷 武美
石塚 柏

橋村 誠

高橋 徳久

戸嶋 貴美子

新政会 (5人)

◎渡邊 秀俊

○小松 栄治

小笠原 昌作

橋本 琢史

本間 輝男

公明党 (2人)

◎秩父 博樹

挽野 利恵

市民クラブ (1人)

◎佐藤 隆盛

日本共産党 (1人)

◎佐藤 文子

第3回定例会



起立採決（本会議第4日 意見書案第34号）



QRコードから録画中継
(大仙市議会Youtubeチャンネル) に
アクセスできます。

第3回定例会は、8月30日（月）から9月16日（木）までの18日間の会期で行われました。

本会議1日目に、老松市長の市政報告が行われ、市当局提出の人事案2件を同意しました。

本会議2日目・3日目の一般質問では、5人の議員が市政全般について、市当局に質問しました。

また、本会議4日目には、条例案3件、単行案4件、補正予算案2件を原案可決、令和2年度の市立大曲病院事業、上水道事業、簡易水道事業、下水道事業会計決算の4件を認定したほか、陳情1件を採択し、意見書案3件を原案可決しました。

※第3回定例会の録画映像は、大仙市ホームページの議会のページでご覧いただけます。

人事案

▼人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて

【全会一致で同意】

中沢 宏哉氏（神岡地域・再任）
五十嵐榮作氏（大曲地域・新任）

単行案

▼字の区域の変更について

【全会一致で可決】

・協和地域の下淀川地区農地集積加速化基盤整備事業の施行に伴い、字界を変更するものです。

▼財産の譲与について

【全会一致で可決】

・秋田および農業協同組合に、旧豊成中学校の建物の一部を譲与するものです。

▼財産の取得について

【全会一致で可決】

・多目的人工芝グラウンドの用地を取得するもので、取得額は合計で1億1752万9720円です。

▼大仙市過疎地域持続的発展計画の策定について

【全会一致で可決】

・秋田県の過疎地域持続的発展方針に基づき、新たに大仙市過疎地域持続的発展計画を定めるものです。

条例案

▼大仙市過疎地域自立促進のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の制定について

【全会一致で可決】

・過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法（過疎法）の施行に伴い、地方税の減収補填の対象となる固定資産税の課税免除に關し、必要な事項を定めるものです。

▼大仙市過疎地域持続的発展基金条例の制定について

【全会一致で可決】

・大仙市過疎地域持続的発展計画に定める事業を推進するため、過疎対策事業債を原資とする基金を設置するものです。

▼大仙市議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例の制定について

【全会一致で可決】

・同条例のうち、議員の就業報告に係る部分および議員政治倫理審査会の定数を改正するものです。

補正予算案

▼令和3年度大仙市一般会計補正予算（第4号）

【全会一致で可決】

歳入歳出予算の総額にそれぞれ3

億3669万4千円を追加し、補正後の総額は451億343万8千円となりました。

主なもの

- 庁舎管理費（仙北庁舎の屋根防水改修工事費） 1588万4千円
- 空き家等対策費（空き家解体補助金の拡充） 1300万円
- 過疎地域持続的発展基金積立金（大仙市過疎地域持続的発展計画に基づくソフト事業の実施財源を確保するもの） 3000万円
- 地域密着型サービス事業所・高齢者施設等設備整備事業費補助金（福祉事業所での介護ロボット等の導入および防災・減災対策設備整備等に対する補助金） 4375万4千円
- 低コスト技術等導入支援事業費（稲作作業の省人化・低コスト化に係る機械・設備整備等に対する補助金） 5391万8千円
- 花火振興事業緊急支援事業費（大曲商工会議所「花火振興事業特別会計」および市内花火業者への緊急支援金） 9664万5千円
- 協和地区温泉管理費（協和温泉2号井の配管更新工事費） 497万2千円
- 指定管理施設等支援事業費（新型コロナウイルス感染症拡大の影響

で収入が減少した市内指定管理者等に対する補助金） 3200万円

- 「全国へ届け大仙の味」特産品発送支援事業費（大仙市観光物産協会が取り扱う市特産品の発送支援に要する委託料） 836万円
- 校舎等維持補修および施設整備費（神岡小学校食堂棟の屋根塗装工事費） 253万円
- 公民館管理費（神清水コミュニティセンターを地元自治会へ譲渡することに伴う施設改修費） 1783万4千円

陳情

▼地方財政の充実・強化を求める意見書提出に関する陳情

【全会一致で採択】

意見書案

▼地方財政の充実・強化を求める意見書

【全会一致で可決】

▼コロナ禍による厳しい財政状況に対処し、地方税財源の充実を求める意見書

【賛成多数で可決】

▼豪雪地帯対策特別措置法の改正等に関する意見書

【全会一致で可決】

第3回定例会賛否一覧

議案等名	会派・議員名	議決結果	だいせんの会						大地の会					新政会			日本共産党	市民クラブ	公明党	創生活会							
			高橋敏英	佐藤芳雄	古谷武美	橋村誠	児玉裕一	高橋徳久	石塚 柏	鎌田 正	高橋 幸晴	大山 利吉	佐藤 育男	後藤 健	金谷 道男	小松 栄治	佐藤 清吉	渡邊 秀俊	小笠原昌作	佐藤 文子	藤田 和久	佐藤 隆盛	三浦 常男	秩父 博樹	挽野 利恵	本間 輝男	富岡 喜芳
意見書案第34号 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し、 地方税財源の充実を求める意見書		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成、●：反対 議長は採決に加わらないため、斜線としています。

第3回臨時会



第3回臨時会が7月16日に招集され、市当局提出の条例案1件、単行案1件、補正予算案1件を原案可決しました。

▼令和3年度大仙市一般会計補正予算（第3号）【全会一致で可決】

主なもの

- 消費拡大商品券交付事業費（地域商品券の発行経費） 2億4337万5千円
- テナント事業者支援給付金事業費（テナント事業者の家賃に対する補助金） 4692万8千円
- 経営維持臨時給付金事業費（市が独自で行う経営維持給付金） 1億9364万4千円
- コンベンション施設運営支援事業費（大規模会議場を有する事業者に対する補助金） 6000万円
- 多目的人工芝グラウンド整備事業費（グラウンド整備に係る用地取得費等） 1億2205万9千円



藤田 和久 議員
(日本共産党)



Q 感染拡大に備え、
感染病床を増やせないか

A 県では273床まで拡大し
調整している

質問 大仙保健所管内の新型コロナウイルス感染が
県内で2番目に多い。感染拡大に備え、病床確保が
必要では。

市長 感染者の入院病床や宿泊療養施設は、都道府
県が確保することになっている。県では確保病床数
をこれまでの184床から、抗体カクテル療法向けの
43床を含めた276床まで拡大しており、9月1日現
在の病床使用率は27.3パーセントとなっている。現
在、新型コロナウイルス患者への入院医療の提供
は、県が調整しながら決定している。市では引き続
き感染予防対策を講じ、感染者の抑制に努めていく。

質問 花館公民館を除く、大曲地域の五つの公民
館には正職員が1人もいない。利用者からも正職員
を配置せよとの声があるが。

教育委員会事務局長 現在、地域の実情や公民館業
務に精通した会計年度任用職員を3名ずつ配置して
いる。基幹公民館の花館公民館には正職員を増員し
て、他の公民館の事務の執行や事業の推進等を支援
しており、六つの公民館の一体感も高まってきてい
ると判断している。今後も一層連携を図り、健康で
生き生きとした生涯学習活動ができるよう努めると
ともに、今後の体制については委託化も含めて検討し
たい。



佐藤 芳雄 議員
(だいせんのかい)



Q 敬老会の名簿を
配布できないか

A 今年度分は配布したい

質問 コロナ禍で敬老会が中止になっているが、記
念品や敬老者名簿の配布ができないか。

健康福祉部長 新型コロナウイルス感染症の感染拡
大により経済的負担が増加する中、高齢者の生活支
援策として、敬老会対象者を含む75歳以上の市民1
人につき3,000円分の高齢者支援地域商品券を送付し
た。また、昨年度に引き続き、市内を走るバスおよ
びタクシーで利用可能な交通助成券「のりのりきっ
ぷ」を75歳以上の希望者1人につき5,000円分を交付
している。敬老会の対象者名簿は、昨年度と今年度
は、敬老会の開催を見送ったことから作成していな
いが、対象者の皆さんがお互いの状況を知るために
ご覧になっているなどの声を受けて、今年度分の名
簿作成に向けての準備を進めたい。

◆投票率の向上対策について

質問 市議会議員選挙のときはあまりPRしなくて
も投票率が高いが、国政選挙のときは低い。その原
因と今後の対策は。

総務部長 有権者が身近に感じられる選挙かどう
かが、投票率に大きく影響するものと考えられる。有
権者である市民の皆さまに関心を持っていただき、
主権者としての自覚を促すために、今後も官民一体
となり取り組みを進めていきたい。

今後の投票率向上に向けた施策としては、地域公
共交通空白地域3カ所のうち、限定期日前投票所が
設置されていない大曲地域蛭川地区と、中仙地域清
水満願寺地区に各1カ所、また18歳の投票率向上の
ため、今回、投票所の開設を
了承いただいた市内高等学校
2校の計4カ所に、民間バス
を投票所として使用する移動
期日前投票所を設置すること
としている。





挽野 利恵 議員
(公明党)



Q ヤングケアラーの
実態把握は

A 今後、把握に努めていく

質問 大仙市における、家庭で両親や祖父母、兄弟の世話や介護をする「ヤングケアラー」の実態は？

西山副市長 家庭内のことで表面化しにくい内容でもあり、把握できていない。近年「ヤングケアラー」が友人との関係が希薄化して孤立したり、進学や就職を断念せざるを得なくなってしまうケースが頻発しており、その問題性が強く指摘されている。こうした中、市では市内各小・中学校の学校生活の中で、児童・生徒の会話や行動観察をはじめ、生活記録ノート、連絡帳、教育相談、生活や学習に関するアンケート等の機会を捉えて、児童生徒の悩みの発見に努めている。今後はヤングケアラーの存在を意識しながら、よりきめ細やかに児童生徒の実態を把握していく。

質問 ヤングケアラーに必要な支援をつなげる体制は？

西山副市長 現在、それに特化した支援体制は構築できていない。家庭に関するさまざまな相談は福祉事務所内の家庭相談員が対応し、家庭内のトラブルが虐待に発展しないよう、関係各機関で構成された要保護児童対策地域協議会で、児童・生徒にとって最善となる支援は何であるかを重視し支援してきた。

ヤングケアラーについて、国から支援方法の具体的なガイドラインはまだ示されていないが、育児放棄や虐待等につながる可能性も否定できないと捉えており、さまざまなケースに応じて必要な福祉サービスにつなぐなど、関係機関と連携を密にしながら支援していく。

今後は、国の動向を注視しつつ、ヤングケアラーについて広く市民の皆さまにもご理解いただき、児童・生徒の小さなSOSに気付くことができるよう努めていく。

○この他、コロナ禍で頑張る学生への支援について質問しました。



秩父 博樹 議員
(公明党)



Q 公共施設へ給水スポット
を設置しては

A まずはマイボトルの使用
啓発に取り組んでいく

質問 温暖化対策の具体的な一歩として、マイボトルに飲料水（冷水）をくめる給水スポット（ボトルフィラー）の公共施設への設置を検討しては。

市民部長 ペットボトルをはじめ、プラスチック製品の廃棄による海洋汚染や、温暖化の一因となる製造過程での二酸化炭素の排出は世界的な問題となっており、その削減は早急に取り組むべき課題であると認識している。

給水スポットの設置には、マイボトルの利用普及によるペットボトルの利用抑制など、市民がプラスチックごみの排出削減を意識し、温暖化に伴う気候変動に適応した熱中症対策にも有効な手段と考えられる。しかし、衛生面の対策や設置場所など、その運用については研究も必要なので、まずは市民の皆さまが習慣的にマイボトルを使用していただくよう

に広報やホームページ、ポスターなどによる啓発活動に取り組んでいく。

質問 市民の皆さまの意識が重要だと思う。国単位だとか、大きな視野でやってもらいたい取り組みだが、「国のみならず市町村でも」という視点から考えると、最初にかじを取るのは市行政の仕事であると思う。前向きに取り組んでいただきたい。

市長 SDGsの中にある「海の豊かさを守ろう」という一つの目標とも合致している。地球温暖化防止、カーボンニュートラルという考え方とも合致している取り組みであると思う。カーボンゼロシティ宣言を目指す大仙市としても、具体的な取り組みを進めていきたい。

○この他、地域気象防災支援のための気象庁等による取り組みの活用について質問しました。





佐藤 文子 議員
(日本共産党)



Q いつでも受けられる
PCR検査体制を

A 無症状の方は既存の
検査機関の活用を

質問 無症状の新型コロナウイルス感染者による感染拡大が相次いでいる。無症状者の早期発見対策として、いつでも受けられるPCR検査体制を検討できないか。

市長 無症状の方向けの検査は、大仙保健所管内に自費による検査可能な医療機関があるほか、秋田市に開設されている「新型コロナPCR検査センター」は、県民に限らず県外の方の検査も実施している。無症状の方は既存の検査機関等を活用いただきたい。

質問 新型コロナウイルス感染は子どもたちの間にも広がってきている。早期発見につながるよう、学校・保育園等に抗原検査キットを配布できないか。

市長 市内の認定こども園には既に配布され、今後、小中学校にも配布される予定。基本的には教員向けだが、児童生徒にも活用できる。秋田市が9月中旬から独自の配布を決定しており、その運用等を注視していく。

◆米需要減少・米価暴落対策について

質問 コロナ禍による米需要低下で米価暴落が予想されている。国が責任を持って在庫米を買い上げるなど、米価下落防止策を国に要望できないか。

農林部長 収穫期を迎え、強い不安を感じている。従来の枠組みにとらわれない対策が求められる。過剰在庫米分は国による緊急買い入れなどで、市場から隔離し、米価安定を図る必要がある。今後、県あるいは市長会を通じて国に要望していく。

質問 市として、窮地にある農家に何らかの支援策を講ずるべきと思うが。

農林部長 現在、本市と仙北市、美郷町および金融機関により、次期作に意欲的に取り組めるよう、新たな融資制度の創設も検討している。

FMはなびが 新議員にインタビュー

FMはなびで「大仙市議会新議員に聞く」が特集され、番組内で5名の新議員がこれからの意気込みなどを語りました。

今後の配信日は次のとおりです。ぜひお聴き下さい。



	初 回	再放送	再々放送
青柳 友哉 議員	10月14日(木) 1 配信済 10:15	10月20日(水) 1 配信済 19:00	11月15日(月) 13:00~ 13:15
安達 成年 議員	10月21日(木) 1 配信済 10:15	10月27日(水) 1 配信済 19:00	11月16日(火) 13:00~ 13:15
戸嶋貴美子 議員	10月28日(木) 1 配信済 10:15	11月3日(水) 18:45~ 19:00	11月17日(水) 13:00~ 13:15
橋本 琢史 議員	11月4日(木) 10:00~ 10:15	11月10日(水) 18:45~ 19:00	11月18日(木) 13:00~ 13:15
山谷 喜元 議員	11月11日(木) 10:00~ 10:15	11月17日(水) 18:45~ 19:00	11月19日(金) 13:00~ 13:15

議会のうごき

7月

2日 広報広聴常任委員会
6日 議員政治倫理条例検討会議
12日 議会運営委員会
16日 第3回臨時会
各常任委員会審査
議員全員協議会
広報広聴常任委員会

8月

10日 議員政治倫理条例検討会議
17日 議員説明会
20日 議員政治倫理条例検討会議
23日 議会運営委員会
30日 第3回定例会（第1日）
議員全員協議会
広報広聴常任委員会

9月

7日 第3回定例会（第2日）
議員定数等検討会議
8日 第3回定例会（第3日）
9日 各常任委員会審査
14日 議会運営委員会
16日 第3回定例会（第4日）

令和3年度「大仙市議会市政懇談会」の開催について

今年度の市政懇談会は、新型コロナウイルス感染拡大防止と、市民の皆さんの安全確保のため、開催時期を検討しておりましたが、感染状況が落ち着いてきていることから、令和4年1月下旬から2月上旬の開催に向け、準備を進めていくことといたしました。

会場等の詳細については、追って広報などでお知らせいたします。

※ただし、新型コロナウイルス感染拡大状況により、中止となる場合があります。

第65号「皆さまの声をお寄せください」への回答

前号にお寄せいただいたご意見をご紹介します。（一部要約）

Q 「ここが聞きたい！一般質問」の項目中において、一般質問者は当局の答弁内容について、その対応の期限や経過、進捗状況等を後の一般質問でもただしてはどうか。

〔大曲地域・60代〕

A いただいたご意見を一般質問者へお伝えしました。このたびは、貴重なご意見をありがとうございました。



皆さまの声をお寄せください

大仙市議会では、皆さまからのご意見を募集いたします。

募集期間

令和3年11月1日（月）～令和3年11月30日（火）

提出方法

次の①～③のいずれかの方法により提出してください。様式の定めはありません。ご自由に記載してください。

- ①郵送 ・宛先：〒014-8601 大仙市大曲花園町1番1号
大仙市議会事務局あて
- ②ファックス ・番号：0187-62-8822（議会事務局専用ファックス）
- ③メール ・アドレス：gikai@city.daisen.lg.jp

必要記載事項

- ・住所・氏名および年齢を必ず記載してください。
- ・郵送の場合は封筒の外側に、ファックス・メールの場合はタイトルに、「大仙市議会への声」と明記してください。

注1 いただいたご意見の要旨を、居住地、年代を示した上で議会だよりやホームページで紹介させていただく場合があります。

（掲載例）「大曲地域・40代」「中仙地域・50代」

注2 お電話による受け付けは行いませんので、ご了承ください。

注3 いただいたご意見は、大仙市議会への貴重な「声」として、プライバシーに配慮しながら、全議員へ回覧させていただきます。

大仙市議会議員政治倫理条例検討会議からの報告

大仙市議会議員政治倫理条例について、協議を行うため設置した当検討会議では、これまで8回の会議を行い、協議・検討を行ってまいりました。その主な結果は次のとおりです。

- ①就業の報告義務に関して、これまでは、市の出資団体等の役員については、提出しなくてもいいこととしておりましたが、協議の結果、報告すること自体に問題はないとされ、条文中「市の出資団体等を除く。」を削除する条例の一部改正をしました。
- ②審査請求があった際に議長が設置する政治倫理審査会の委員数について、今回の改選より議員定数が削減されたことから、これまでの「10人以内」から「8人以内」へと、条例の一部改正をしました。
- ③議会の公平性・透明性を確保するため、同条例の【解説付き】を作成し、ホームページなどで広く周知することとしました。

解説付き条文はこちらからご覧いただけます



企画産業常任委員会

条例案1件、単行案1件、補正予算案1件を審査し、次のような質疑がありました。

●大仙市過疎地域持続的発展計画の策定について

【問】人口減少を食い止める中で、若者の社会減を抑えるという部分が一番重要と考える。大学進学率が上がっている昨今、就職先となる企業の誘致など課題もあるが、どのように考えているか。

【答】若者の社会減への対策は、総合戦略の中でも重点課題と位置付けている。卒業後の就職先となる企業誘致や、地場産業の振興として、スマート農業を取り入れたモデルケースの創出、スタートアップ企業など、若い人を市外から呼び込むような起業促進対策等を考えて対応していきたい。



●令和3年度大仙市一般会計補正予算(第4号) 創業支援事業費

【問】県外から移住し、創業した利用者はいるか。

【答】利用者のうち1件が県外からの移住者であり、定住促進につながっている。

「全国へ届け大仙の味」特産品発送支援事業費

【問】県内の新聞広告等により周知を図るとあるが、県外への周知は考えていないか。

【答】交流都市である宮崎市、宮古市、座間市には、関係課と連携し、観光協会や市役所を通してチラシ等を送付し周知していきたい。



総務民生常任委員会

条例案1件、単行案2件、補正予算案1件、陳情1件を審査し、次のような質疑がありました。

●財産の譲与について

【問】秋田おばこ農業協同組合に、旧豊成中学校の体育館を譲渡するに当たり、共有部分以外の用地を有償貸し付けすることとしているが、土地内の修繕対応を含めた無償貸し付けは検討したのか。

【答】貸し付けに当たり、市有財産の有効活用という観点から有償とし、土地内で発生する修繕も全て相手方が実施することで合意している。

●令和3年度大仙市一般会計補正予算(第4号) 超高速情報通信基盤設備管理費

【問】NTT東日本に貸し出している光ファイバー通信設備は、相手方へ譲渡すべきものと考ええるが、協議は進んでいるのか。

【答】市としても譲渡を検討しており、現在も協議を進めているところである。引き続き、合意形成に向けて協議を進めていきたい。

庁舎管理費(仙北庁舎屋上防水改修工事)

【問】仙北庁舎は、建築されてからの46年間、防水シートを張り替えていないとのことだが、防水シートの耐用年数はどのくらいか。

【答】指針では、防水シートの全面改修は30年と設定されている。

【問】他の庁舎や施設においてはどのような状況か。

【答】防水シートを使用している他の庁舎等でも、経年劣化による雨漏りが生じている箇所があることから、今後、優先順位を決め、来年度当初予算に計上してまいりたい。

◇陳情第52号「地方財政の充実・強化を求める意見書提出に関する陳情」は、願意を妥当とし、採決の結果「採択すべきもの」としました。

建設水道常任委員会

補正予算案1件、決算認定3件を審査し、次のような質疑がありました。

●令和3年度大仙市一般会計補正予算(第4号) 除雪対策費

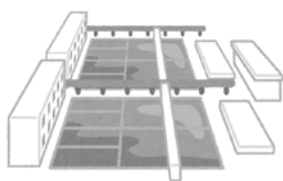
【問】除雪の業務委託について、新規参入を希望する業者が参入しづらいという声を聞くが、その実態は把握しているのか。また、業者の新規参入は検討しているのか。

【答】除雪はプロポーザル方式による業者のJV（共同企業体）化で行っているが、新規参入を希望する業者がなかなか参入できないことも承知している。市としては、除雪の経験があれば新規参入は可能であるという立場なので、ご相談があれば対応してまいりたい。

●令和2年度大仙市上水道事業会計決算の認定について

決算審査意見

更新時期を迎えつつある玉川浄水場や配水管の更新に向けて、上水道事業の利益剰余金を積み立てするなど、その更新に向けた計画を策定するとともに、今後の経営の見込みについて市民に周知されたい。



●令和2年度大仙市簡易水道事業会計決算の認定について

●令和2年度大仙市下水道事業会計決算の認定について

決算審査意見

簡易水道事業や下水道の農業集落排水事業は、施設の統廃合が進められ、経費の削減が図られていることは評価されるものである。引き続き施設の統廃合を進めるとともに、人口減少による料金収入の減少が見込まれることから、将来の状況を見越した長期的な計画の策定を検討し、安定した経営に努められたい。

教育福祉常任委員会

単行案1件、補正予算案2件、決算認定1件を審査し、次のような質疑がありました。

●財産の取得について

【問】用地の取得価格はどのように決定しているのか。

【答】不動産鑑定士に鑑定を依頼し、市内の類似物件の評価額を4件ほど参考にして、平米当たり「4,000円から」という報告書をいただいている。それを基に、用地が接する市道の本数等も考慮して、1平方メートル当たり「4,000円から4,400円」という単価を設定している。

●令和3年度大仙市一般会計補正予算(第4号) 校舎等維持補修および施設整備費(小学校費)

【問】神岡小学校食堂棟は建築後28年が経過しているが、これまで屋根の塗装工事は行われてきたのか。

【答】現場を確認したところ、おそらく行っていない。

【問】定期的に塗装をしていれば、屋根も長持ちするものと思う。今後考慮していただきたいが。

【答】なるべく小まめに塗装を行っていききたい。

公民館管理費

【問】改修後に譲渡される神清水^{じんしみず}コミュニティセンターの他、同じ神岡地域の北檜岡公民館も老朽化が進んでおり、地元住民からも改修してほしいとの声がある。市民の利用に支障が出ないよう対応されたいが。

【答】北檜岡公民館については、計画的に修繕を行い、長寿命化を図っていききたい。

●令和2年度市立大曲病院事業会計決算の認定について

【問】未収金の対応については、どのように行っているのか。

【答】納付期限を過ぎたものに対しては督促を行い、次からは文書で催告している。その他、外来での来院時に相談されたり、こちらから電話で状況等を聴取したりしながら納付をお願いしている。

市民の声

今般行われた大仙市議会議員選挙を注視しておりました。

遊説時間が短縮され、通勤時間や夜間の遊説に配慮されたことや、大名行列のような車列が制限されたことは大変良いことだと思う一方、候補者の政策や人柄がもっと見えるような仕組みも必要ではないかと感じました。

また、選挙の結果を見ると、新人5人のうち30代が1人と40代が2人当選されたようで、これからの大仙市を担う若い世代が市政に声を上げて挑戦し、当選を果たされたことは非常に喜ばしいことだと思います。

いずれにしても、今回当選されました市議会議員の皆さまには、我々市民の代表として、その役割をしっかりと果たしていただくことを切に願うものであります。

(西仙北地域・50代男性)



議長交際費

(7月1日～9月30日)

項目	件数	金額
予算額		850,000円
既支出額(4～6月)	2件	9,400円
支出額	4件	28,643円
内訳	弔慰	1件 10,000円
	慶祝	3件 18,643円
	協賛	0件 0円
予算残額		811,957円

第5回臨時会 決算特別委員会審査日程

11月 4日(木)	全体会(審査方法、日程等の確認)・分科会審査
11月 5日(金)	分科会審査
11月 8日(月)	分科会審査
11月 9日(火)・10日(水)	事務調整
11月11日(木)	全体会(分科会会長報告、全体審査)

12月定例会日程のお知らせ

11月26日(金)	本会議第1日(市政報告、会期の決定、議案等上程)
12月 7日(火)	本会議第2日(一般質問)
12月 8日(水)	本会議第3日(一般質問、議案質疑、委員会付託)
12月 9日(木)・10日(金)	常任委員会審査
12月16日(木)	本会議第4日(委員長報告、質疑、討論、表決)

※ 現時点での予定であり、変更される場合があります。変更内容は随時、議会ホームページでご案内しています。

※ 12月定例会で審査される請願・陳情は、11月17日(水)まで提出されたものです。それ以降に提出されたものは、次の定例会での審査となります。



※撮影時のみマスクを外しています。

広報広聴常任委員会

委員長	古谷 武美
副委員長	挽野 利恵
委員	秩父 博樹
委員	小笠原 昌作
委員	渡邊 秀俊
委員	青柳 友哉
委員	石塚 柏
委員	戸嶋 貴美子



編集後記

市議会議員選挙を終え、新議長・新副議長が選出され、新しい体制の4常任委員会がスタートしました。

5人の新人議員が加わって、平均年齢が大幅に下がった大仙市議会になりました。広報広聴常任委員会も、新人議員2名が委員となり、新体制での始まりです。

さて、今日まで新型コロナウイルス感染症のまん延で議員活動が制限され、市民の皆さまも感染対策を十分にされながら、大変ご苦労されていることと存じます。

このような状況下だからこそ、議会と市民の皆さまをつなぐツールであります「市議会だより」を通じて、議会の活動を分かりやすく丁寧にお伝えし、市民の皆さまの関心が得られる内容としていきたい、委員全員で頑張っていますので、よろしくお願いたします。

また、市民の皆さまのご意見やお問い合わせも、編集に役立ていきますので、併せてよろしくお願いたします。(委員長 古谷 武美)